



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和7年2月21日

我孫子市小中一貫教育だより
第369号



我孫子市マスコットキャラクター
「手洗浴のうなぎさん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にしている子ども



布佐地区キャラクター
「ふさだ だしお」

Abi-小中一貫教育 共有授業実践の様子を紹介するうな～！

Abi-キャリア「災害に備えるには」

我孫子中学校区では、「安全・防災教育」を独自カリキュラムと位置付け、その実践が行われています。この日は、高野山小学校の2年生が学活で「災害の備えについて災害時に起きうる事象を想起し、自分たちで事前にできることを考える」授業を行いました。

避難訓練をふり返り、災害時の行動や日頃の備えについて考えることから授業が始まりました。続いて、日本で起きた大地震の映像を見ると、「こんなにすごい!?」とたくさんの児童が驚いており、阪神・淡路大震災から30年となることを口にしていく児童もいました。

授業では、千葉県作成の教材「こども防災」のワークシートを活用し、地震が起こった時の危険や助かるためにすべき行動を考えました。「ガラスが割れるかもしれないから、窓から離れよう」「店で商品棚が倒れるかもしれないから、買い物カゴをかぶろう」「家では家具を固定し、非常食を準備しよう」「学校では避難経路を確認しよう」など、具体的に想像し、考えたことを友達と共有しました。



2年生で「自助」の意識と行動を高めることで、3・4年生の社会科で学ぶ「共助や公助」の意味の理解も深まっていくと感じました。安全・安心なまちづくりに参画する人材の育成を目指して取り組んでいることが伝わってきました。

Abi-ふるさと「自分のよいところ、すごいところを見つけよう」

我孫子第二小学校の2年生が生活科で「自分のよいところ、すごいところを見つけよう」の学習を行いました。自分や友達のよいところをみつけていくなかで、自分や他の人を大切にする思いを学びます。

最初に「自分のよいところ、すごいところを見つけよう」という本時のねらいを明確にしました。何をするのか理解し、心の準備ができたようです。

まず、「よいところ発見カード」に自分が見つけた友達のよいところを記入しました。次に4人1組になり、「よいところ発見カード」を友達に渡しました。カードを受け取ると、笑顔がいっぱいになり、カードと一緒にあったかい気持ちも受け取っているようでした。少しはずかしそうにしている子もいましたが、教室にはたくさんの笑顔が溢れました。授業の振り返りでは、「よいところを書いてもらい嬉しかった。」と多くの子が発表しました。他にも「自分っていいなと思いました。」「ほめられて気絶しそうでした。」と発表する子もおり、一人一人がかけがえない大切な存在であることを確認している様子でした。



最後に先生が、「日頃からよいところを伝え合い、自分発見をしていきましょう。」と締めくくりました。休み時間になってからもみんなの笑顔が続き、今回の授業がそれぞれの心に残るあたたかな授業になったと感じました。